

冬の服装について

生徒指導担当

1 冬の服装について

- 防寒面、動きやすさ、安全面、衛生面、華美にならないということを考えて指導する。
- 学校からお便りをだす。学年で発達段階に応じて指導する。
- 保護者から質問等があった場合は、生徒指導担当を通し学校としての回答を行う。

2 セーター、ベストについて

- シャツの上にセーターやベストを着用する。重ね着してもよい。
- シャツ→ベスト→セーターの順で着用する。

3 防寒着…ジャージ上下、派手でないジャンパーなど

- 厳寒時（めやすとして気温または室温10度以下）に着用してよい。
- 体調不良等で担任に連絡があった場合は、厳寒時以外でも着用してよい。
- ジャンパーなどを着る場合には、下にセーター（またはベスト）を着る。
- ジャンパーなどの丈は、ひざ上とする。（丈の長いベンチコートは、着用しない。）色柄は、華美にならないように指導する。
- フードは安全上かぶらない。
- ジャンパーは、教室ロッカーの棚に入る大きさにする。（かさばるものは使用しない。）
- 気温・室温に応じた服装を指導する。（暖房のある部屋で防寒具を着用しないなど、状況に応じて服装を調整する判断力を指導する。）

4 防寒具（手袋などについて）

- 厳寒時の登下校時、外遊び時に着用してよい。
- 手袋、ネックウォーマーは使用可 （ただし校舎内では着用しない）。耳あて、マフラーは使用禁止。
- その他、外での活動時は担任の指示により使用してもよい。
- 手袋は転倒時等の安全確保のため、ミトン型のものや綿入りの厚手のものは着用しない。

5 厳寒時（使用時期）について

※厳寒時 めやす…気温または室温が10度以下のとき

「防寒具」・・・校内で10月以降3月までの厳寒時とする。体調が悪いときは担任に連絡して使用してよい。

6 その他

- 携帯型カイロ、リップクリーム、ハンドクリームは担任に連絡して使用し、必ず記名させる。
- 体育の授業時には、セーターやベストなど着用しない。
- 縄跳びや持久走で待っている時間が長いなどの場合に限って、担任の判断で体操服の上からジャンパーを着たり、手袋を着用させたりしてよい。

冬季の服装について

熊本市立植木小学校

学校と家庭が共通理解のもと、子どもたちが落ち着いて学校生活をすごせるように、下記の内容で冬季の服装指導を進めることをお知らせします。

冬季の標準服

長袖ポロシャツ、半ズボン、スカート、靴下、セーターやベスト

肌着は、なるべくシャツから見えないもの。（ポロシャツの下にハイネック系の肌着を着ると、日中気温が上昇したときや運動後に汗をかいたときに、体温調節ができなくなります。また、教室には暖房が完備されています。朝、登校時に寒さが厳しいときに、重ね着や防寒着・防寒具を着用させてください。）

1. 登下校時の防寒着について

①寒さが厳しいときは、登下校時に限り、防寒着を着用しても構いません。

②防寒着は、次のとおりです。

○華美でないジャンパー

・丈はひざまでの長すぎないもの（ベンチコートやオーバーコートは不可）

・教室のロッカーに畳んで入れることができる かさばらないもの

○フードはかぶらない（安全上のため）

○長ズボン（標準服の半ズボンの上にはく、華美でないもの）

○タイツを着用しても構いません。（体育のときは脱いで靴下に履き替える。）

※着用させる場合は、必ず記名をお願いします。

※色やデザインが派手なもの、高価なものは避けてください。

※気温や室温に応じて服装を調整できるように指導します。ご家庭でも指導をお願いいたします。

2. 登下校時の防寒具について

①寒さが厳しいときは、登下校時、外遊び時に限り、防寒具を着用しても構いません。

②防寒具は、次のとおりです。教室の中では着用しません。

○手袋（ミトン型や厚手のものは不可）

○ネックウォーマー（名前を書いてください）

※マフラー、耳あては不可（事故防止のため）

3. 体育時の服装について

①寒いときは、体が温まるまで長袖のジャージかトレーナーを着用して構いません。

その場合は、体育用として、体操服と一緒に持たせてください。

（トレーナーは、紺、白、黒、グレーなどの派手でない、無地に近いもの。）

4. その他 カイロ、クリーム、リップ類の使用

○体調等を考慮し、使用させる場合は次のことを守るようにお願いします。

・保護者から担任に、使用させる旨の連絡をお願いします。

・必ず名前を書いてください。取り出して人に見せない。遊びに使わないこととします。

・必ず家に持って帰る。（おいて帰ったり、捨てたりしない。）

・友達への貸し借りをしない。あげない、もらわない